

岡山市区づくり推進事業助成申込書 (地域活動部門)

平成27年3月27日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ヒライガクレンゴウチョウナйкаイ
団体名 平井学区連合町内会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	地域づくり会議の設立と運営
事業実施区域(小学校区)	平井小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 回目 (年度から)
事業の目的	地域づくり会議は、地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、課題解決に向けた話し合いや方向付け、支援体制等を総合的に調整し推進することにより、地域で支え合い、安全で安心して暮らせる平井学区を目指すことを目的とする。
事業の必要性と背景	昨今、価値観や生活環境の多様化より、人間関係の希薄化が顕著となり、また、地域が抱える様々な問題も地域コミュニティの崩壊が原因とも言われている。 当学区も同様の傾向にあり、平井学区を住み良いまち、笑って暮らせるまちにするためには、地域住民主体の地域づくりが必要と考え、地域づくりの第一歩として、地域の各種団体が幅広く連携し、情報の共有や課題解決に向けた取り組みが必要であると考えた。 なお、学区安全・安心ネットワークは、地域の各種団体の支援を受け、防犯・防災・交通安全等、活動主体の事業は行っているが、本事業のような会議体が設立されていないことも背景にある。

事業の内容	地域づくり会議は、事業目的を達成するため、次の事業を行う。 ① 地域情報の現状把握（地域情報の集約と共有） ② 地域課題の掘り起しと地域課題の共有 ③ 課題解決策の検討と支援体制の仕組みづくり ④ 専門職とのネットワーク構築と連携 ⑤ 地域住民への広報及び啓蒙活動 ⑥ 新たなサービス構築の検討 等
事業の活動計画	今年度は、次の活動を主体に実施する。 ① 地域づくり会議の設立と規約の制定 ② 地域づくり会議運営手法の習得（例：外部講師招聘等） ③ 地域づくり先進地域団体・組織への視察（例：島根県雲南市等） ④ 地域情報の集約と共有 ⑤ 地域課題の抽出と分析 ⑥ 課題解決策の検討と優先順位付け ⑦ 地域づくり会議の設立や活動状況のPR 等
企画などの工夫	・ 連合町内会役員のみならず、地域の各種団体から推薦された団体代表者によって構成する会議体を組織し、会議運営を行う。 ・ 外部講師を招聘し、地域課題の抽出や分析、課題解決策の検討方法等、会議の運営手法の習得を行う。また、地域づくりの先進地域団体・組織への視察も行う。 ・ 地域の各種団体に対し、団体が把握している地域課題等のアンケートを行い、そのアンケート結果から、地域課題の分析と解決すべき優先順位付けや課題解決に向けた方向付け等を議論し、課題解決に取り組む。 ・ 協議する議題やテーマにより、行政機関や関係機関の専門職の参加者を求める。 ・ 効率的な会議運営を行うため、専門部会（プロジェクトチーム）を置く。 ・ 学区及び団体発刊の新聞や学区ホームページに掲載し、活動内容をPRする。
期待される成果	・ 地域の各種団体が把握している地域情報や地域課題、行政情報の共有化と見える化が図れる。 ・ 地域の各種団体の代表者から構成されているため、議論された内容や方針などを所属する団体へ周知することにより、学区一丸となって地域課題に取り組むことが出来る。また、各種団体の各代表は、団体から推薦された代表者であるため、団体の後継者や若手の育成にも繋がる。 ・ 行政機関からの地域団体に対する対応要望・要請内容は、団体によって偏りがあり負担も大きくなっているが、本会議にて他団体への支援調整等が行える。 ・ 本会議の存在意義や活動内容をPRすることにより、地域住民へ顔の見える関係づくりや地域コミュニティの重要性をアピールすることが出来る。 ・ 地域課題の取り組みに行政機関や関係機関の専門職の支援を受けることにより、各分野の専門職との新たなネットワークの構築と連携が可能となる。

事業の情報公開	・ 学区発刊の新聞に掲載 連合町内会だより ・ 各種団体の発刊誌に掲載 地区社協、地区民児協、学区愛育委員 等 ・ 学区ホームページに掲載 電子町内会(学区内外への情報発信)
次年度以降の予定	次年度以降は、次の活動等を実施する予定。 ① 前年度活動内容のチェック（課題と課題解決策のmC A） ② 残課題の解決策や方向付けの継続検討 ③ 支援体制の仕組みづくり ④ 新たなサービス構築の検討 等
その他PRしたい点	※小学校区より小規模（単位町内会等）で実施の場合は、広がりについても記入してください。 ・ 単位町内会に対し、本会議をモデルケースに、地域で支え合う仕組みづくりや町内会の問題をみんなで考たり、話し合うことの重要性を訴求し、単位町内会へ同様の会議体設立を推進する足がかりとしたい。

事業スケジュール

[illegible]